

令和7年度 新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)活用状況

事業番号		1		(新規)											
事務事業名		おおいたアーバンスポーツ推進事業													
事業分野		観光振興		支援対象者		アーバンスポーツ競技者又は施設利用者等									
担当部局		企画部		担当所属		スポーツ振興課		担当班		施設班・交流班					
事業期間		令和7年度～令和9年度		交付金の種類		ソフト事業・拠点整備事業									
実施体制		☒ 直接実施(大分市)													
		☒ 業務委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:プロポーザル方式等により決定)													
		☐ 補助金(補助先: 実施主体:)													
		☐ その他()													
交付対象事業の概要	目的		・市内中心部でのアーバンスポーツの大会開催や社会実験を含む施設を整備し、競技の普及振興やスポーツ交流人口の拡大を進めることにより、観光消費額の増加を図る。 ・アーバンスポーツの取り組みを加速化させ、ソフト事業とハード事業を兼ね備えたアーバンスポーツ都市を目指す。												
	事業内容		(1)スケートボード大会の開催(令和7～9年度) 令和5年度から実施しているアーバンスポーツフェスは継続しつつ、スポーツ交流人口の拡大や競技の普及、スポーツによるまちづくりを図るため、新たな取組としてスケートボード大会を開催する。 (2)アーバンスポーツ施設の整備・稼働(整備:令和7年度、稼働:令和8～9年度) 本格的なアーバンスポーツ施設の整備に向け、ニーズ調査等も踏まえ2つの公園にアーバンスポーツ施設を整備する。1つは中心部から若干離れた位置に練習場として3x3兼用のバスケットボールコートを整備するとともに、中心部に位置する街区公園内にスケートボードパークを仮設整備し社会実験を行う。 (3)(仮)おおいたアーバンスポーツ推進構想の策定(令和9年度) (1)及び(2)の事業実施による効果検証を行った後、アーバンスポーツの推進に関する構想を策定し、ソフト事業に関してはイベントのほか各種取組を定めるとともに、ハード事業ではPFIやP-PFIを活用した民間主導の複合型アーバンスポーツ施設の整備方針を定める。 上記(1)～(3)の事業推進主体は大分市、(1)及び(3)はプロポーザル方式等により委託先を選定、(2)の整備主体は大分市、測量及び設計や工事の施工業者は入札により決定する。												
期間中の総事業費		129,877千円(令和7年度～令和9年度)													
R7年度事業費		事業費		100,531千円											
		財源内訳		国庫支出金		50,265		千円		県支出金等		13,500		千円	
				一般財源		36,766		千円							
R7年度 経費内訳		(1)スケートボード大会開催事業 13,988千円 ・プロポーザル方式で選定された企画・事業者とのイベント実施等委託料 企画制作費1,272千円、会場制作費(コース製作費含む)9,185千円、大会進行費2,266千円、広告宣伝費1,265千円 (2)アーバンスポーツ施設整備事業 79,543千円 ・大手公園内へスケートボードパーク整備 46,212千円 整備概要:1,000㎡以上のスケートボードパーク、セクション、照明設備、フェンスなど 設計等委託料4,958千円、設置等委託料(製作含む)10,266千円、工事請負費30,988千円 ・南大分スポーツパーク内へ3x3コート整備 33,331千円 整備概要:3x3兼用コート2面、照明設備、防球フェンス 設計等委託料6,325千円、工事請負費27,006千円 (3)施設解施設錠のDX化に係るスマートロック導入事業 7,000千円 ・公共施設予約・案内システムを用い、施設解施設錠にスマートロック導入 システム改修等委託料7,000千円													
重要業績評価指標(KPI) ※目標値は最終事業年度の値		重要業績評価指標(KPI)								目標値(令和9年度)					
		①大会実施等による観光消費額(基準値:0円)								10,473千円					
		②整備施設の利用率収入(基準値:0円)								2,340千円					
		③大会の参加者及び観覧者数(基準値:0人)								500人					
		④整備施設の利用者数(基準値:0人)								18,460人					

事業概要【おおいたアーバンスポーツ推進事業】

申請者	大分県大分市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	129,877千円 (100,531千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	- 市内中心部でのアーバンスポーツの大会開催や社会実験を含む施設を整備し、競技の普及振興やスポーツ交流人口の拡大を進めることにより、観光消費額の増加を図る。 - アーバンスポーツの取り組みを加速化させ、ソフト事業とハード事業を兼ね備えたアーバンスポーツ都市を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○スケートボード大会開催事業 - 大会実施（委託料）13,988千円 ○社会実験のためのスケートボード整備事業 - 施設整備 46,212千円 ○施設開施設のDX化に係るスマートロック導入事業 - システム改修等委託料 7,000千円 【拠点整備事業経費】 ○南大分スポーツパークに3x3コートを整備 - 施設整備 33,331千円						
地域の多様な 主体の参画	- 地元企業等（区分：産） 協賛や大会期間中の割引キャンペーンを実施してもらい、地域活性化を図る。 - 大分都市広域圏自治体（区分：官） 施設予約システムの連携や意見交換を通じた相互利用を促進。 - 報道、メディア（区分：言） プレスリリースやSNSを活用し、大会・施設の広報を強化。 - 市民・競技団体（区分：住民全般） 利用者の意見を反映し、魅力ある大会・施設づくりに生かす。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①大会実施等による観光消費額（+1,320万円） ②整備施設の利用料収入（+310万円） ③大会の参加者及び観覧者数（+630人） ④整備施設の利用者数（+23,920人）